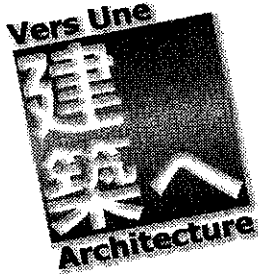


建設工業新聞

豊かな経験・最高の技術
ロープ式・油圧式エレベーター設計・製作・据付・保守

comfortable space
空間

横浜エレベーター株式会社
横浜市中区松影町2-8-6 ☎045(662)1594(代表)
http://www.yokohama-elevator.jp/



イタリア・パドバ市で隔年開催される「バルバラ・カポキン国際建築ビエンナーレ」の日本巡回展が始まり、初日の21日、展示会場の東京・九段南のイタリア文化会館で、開催を記念するシンポジウムが行われた一写真。09年に同ビエンナーレ国際建築賞の審査員を務めた建築家の隈研吾氏をはじめ、これまでに受賞歴を持つ山口隆(05年商業施設部門入賞)、窪田勝文(05年住宅部門入賞)、五十嵐淳(05年国際賞グランプリ)、小西彦仁(09年国際賞グランプリ)の計5氏が登壇。「地方から発信する建築」をテーマに、地域性の大切さなど地方での建築の魅力について熱く語った。(編集部・山口裕照)

「バルバラ・カポキン国際建築ビエンナーレ」 日本巡回展記念シンポジウム「地方から発信する建築」



北海道を拠点に設計活動を展開する小西氏は、「地方から発信する建築」とは「地域性から考える形態だ」と主張。北海道の建築について、開拓前から開拓初期、昭和中期以降は工業素材が使われてきたと解説し、「断熱性は向上したが、北海道と縁もゆかりもない素材でつくられている」と指摘した。小西氏はこうした課題に向き合い、「農村地帯にある農村の住宅を考えた」という作品「愛国農場の家」で国際賞グランプリを受賞した。

場所に応じた変化ある建築に 小西氏 状態解きオリジナリティ生む 五十嵐氏

氏は、豪雪地帯で基礎を深くする「凍結深度」を逆手に取り、それを半地下空間として利用した作品「風の輪」で国際賞グランプリを受賞した。「1段分の場所ができただと、長さ約40分のワンルームの中にプログラムの違う空間を詰め込むことができた。いろんな条件の状態をそれぞれの場所に合わせて設計」とその設計コンセプトを語る。

なぜ、何のために つくるか問われる 窪田氏 過去のものを破壊せずにつなぐ 山口氏

アトを説明。地域性については「建築はそこに建てる場所が存在する。状態をどう解くかで建築にオリジナリティが生まれる。的確に読み込めば、北海道ならではの建築形態が生まれ、それが文化になる」と力を込めた。

広島市と山口県岩国市に事務所を構える窪田氏は、住宅部門入賞作「I-HOUSE」などを紹介しながら、「建築は土地や場所に固定される。建築空間も最終的には一つの形式に固定される。この固定された建築を自由にしたと常に考えている」と述べた上で、「周辺の自然環境の脈動を建築によって浮かび上がらせ、人間の中心にある創造力や精神性に結び付け

地域文化と建築の関係、生き残るヒントに 隈氏

と独自の建築論を展開。商業施設部門入賞作「メタルオフィス」でもオフィスと廊下の空間の接合が設計のテーマだったという。

隈氏は、日本とイタリアの共通点について「場所によってまったく違う文化を持っているが、大きく見て国民性が同じことだ」と分析した。一方、違いについては「気候などの物理的条件と、繰り返されてきた歴史などの時間の両方がある。その接合に、物質がある」と強調。進行中のプロジェクトも含め海外作品を紹介しながら、建築の思考の糸口を物質から、建築の思考の糸口を物質から

に見いだすことを解説した。

東京への一極集中の流れに疑問を呈した。

70年生まれの五十嵐氏は、同世代の建築家の動向を意識しつつ、「自分の枠組みを社会や建築界に押し、どうやって確保するのかわからない。時代や状況を前提にし、どんな枠組みができるか。それが新しいことになっていく」と述べた。

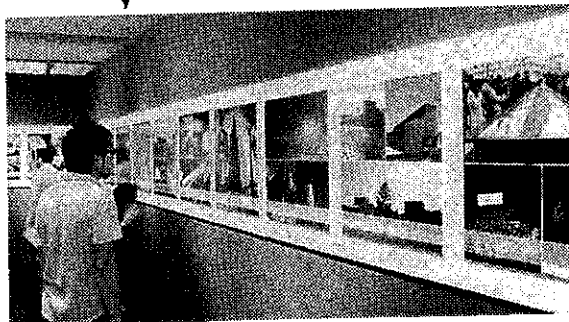
窪田氏は「どんどんつくる時代は完全に終えんとしている」と指摘した上で、「なぜ、何のためにつくるかが今まで以上に問われる。人間のかかわりで建築が何らか

バルバラ・カポキン国際建築ビエンナーレ

日本巡回展は10月10日まで

ベネチア建築大学の学生で、宮(パラッツォ・テッラ・ラ)早世したバルバラ・カポキン ショーネ)を会場に世界的建築家の展示会を開催。これまでにカポキン財団と、パドバにマリオ・ボッタ(03年)、県建築家協会が主催するビエンナーレ(隔年の祭典)で、デヴィッド・チップパーフィー(05年)、隈研吾(07年)、建築賞や建築展、各種イベント、ザハ・ハジド(09年)の4人が出展している。

日本巡回展は10月10日まで(無休)。時間は午前11時から午後6時。入場無料。主催はバルバラ・カポキン財団、パ



ドバ県建築家協会、アーキテクツ・スタジオ・ジャパン、イタリア文化会館。今回を機に日本巡回展の定期開催が決まった。